日本知財学会第12回年次学術研究発表会　一般発表のご案内（発表者、発表者所属、テーマ、連名発表者）
2014年11月30日（日）

※会場地図は後項をご確認ください

場所	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510
座長	北田　透	久保　雅一	橋本　正洋	石埜　正穂	三村　淳一	木村　友久	妹尾　堅一郎	加藤　浩	金澤　良弘	藤野　仁三
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	その他（ブランド・ 知的財産の新領域等）	産学連携及び新規事業	知財に関する国際問題	知財人材育成・知財教育	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	学生発表	学生発表
12:30	2A1 吉田　哲 奈良先端科学技術大学院大学・産官学連携推進本部 米国における機能的クレーム取扱いの動向とその背景 久保浩三	2B1 安田　和史 株式会社スズキアンドアソシエイツ 著作権等管理事業における独占禁止法の問題について	2C1 式部　玲 東京理科大学大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 技術者に適した人事評価制度の探求 鈴木公明	2D1 高田　仁 九州大学大学院経済学研究院 科学技術の商業化を題材とする『教育モデル』の有効性に関する研究（その1） 松橋俊彦、加藤浩介	2E1 古谷　真帆 東京大学政策ビジョン研究センター 自由貿易協定における知財条項の意義	2F1 鈴木　康夫 愛媛県立宇和島水産高等学校 宇和島水産高等学校における知財教育実践と展望～産学官金連携によるぶりだいこん缶詰の商品化プロジェクト～	2G1 犬塚　篤 名古屋大学大学院　経済学研究科 特許発明者のネットワーク構築戦術 渡部俊也		2I1 守屋　凌太 東京理科大学大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 知的協業におけるイノベーションの考察～弁理士とクリエイターのケース～ 鈴木公明	2J1 松本　翼 日本大学大学院知的財産研究科 二次創作物に対する権利構成手段の一考察 菅野政孝
12:50	2A2 滝田　清暉 IP国際技術特許事務所 特許法第104条の3第1項活用時の注意点		2C2 長坂　剛人 特許業務法人むつきパートナーズ 製品デザイン保護に効果的な意匠登録出願の方法 鈴木公明	2D2 松橋　俊彦 大阪大学産学連携本部 科学技術の商業化を題材とする『教育モデル』の有効性に関する研究（その2） 高田仁、加藤浩介	2E2 稲穂　健市 弁理士 移転価格税制における適正価格と知的財産の種別との関連性についての考察	2F2 HAN　KWANG SIK 金浦大學 e-ビジネス科 韓国の1人創造企業の動向や成功事例研究 AN JAE MIN, SON YOUNG BAE	2G2 太田　貴久 豊橋技術科学大学　情報・知能工学系 特許法第36条の運用実態の把握とその分析 野中尋史、増山繁		2I2 坂井　洋右 九州大学芸術工学府/山口情報芸術センター メディアアートにおける知的財産の利活用の検討 伊藤隆之、富松潔	2J2 熊切　秀人 日本大学大学院知的財産研究科 非営利有償での二次的著作物創作促進のための一方策 菅野政孝
13:10	2A3 工藤　一郎 弁理士会　知財価値評価推進センター　第一事業部 担保知財EXITファンド創設の提案	2B3 今村　哲也 明治大学情報コミュニケーション学部 過去のコンテンツ資産の権利処理の円滑化と利用促進に関する研究	2C3 鈴木　公明 東京理科大学イノベーション研究科 意匠の類否判断における需要者の意義と実務的可能性	2D3 松山　裕一郎 アステック特許事務所 技術移転に適した大学知財の特許表現手法の構築（明細書を作成する弁理士の視点から） 阿部紀里子	2E3 山野　有希子 日本弁理士会 シンガポールにおけるADR政策と日本におけるADR利用活性化の為の課題	2F3 吉永　伸裕 佐賀県立有田工業高等学校 デザイン高等専門教育における地域連携の実践と知財教育の関係性	2G3 星野　正則 神奈川県産業技術センター 産業構造再編成の中で、中小企業に対する知財支援の在り方についての一考察	2H3 吉岡（小林）　徹 （独）日本学術振興会/東京大学大学院工学系研究科 意匠権の被引用数の意味―1995-2013年に行われた意匠登録の分析― 渡部俊也	2I3 田中　美希 京都大学大学院医学研究科 橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ：TR）における特許出願マネジメントに関する調査研究 阿部誠二、早乙女周子	2J3 大塚　絵美 日本大学大学院知的財産研究科 著作権法によって保護される応用美術の範囲
13:30	2A4 西正　稔 マンパワーグループ株式会社 「物の移転」VS「権利の移転」		2C4 佐藤　真由美 青山学院大学大学院法学研究科 ジェネリック製品のデザインについての法的考察	2D4 阿部　紀里子 首都大学東京 技術移転を見据えた大学知財の権利化スキームの構築（明細書をチェックする大学知財担当者の視点から） 松山裕一郎			2G4 下出　一 株式会社サピエンティスト 季刊誌発行による知財啓蒙のためのアプローチ 北村光司	2H4 野中　尋史 大分高専 引用情報を利用した企業の技術力評価指標の開発と財務データとの相関分析 太田貴久、増山繁、平岡透、久保大輝、木村誠、那須勇弥、南直人	2I4 小川　太郎 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 太陽電池分野における日本企業の競争力 鈴木公明	2J4 永峰　春樹 日本大学大学院知的財産研究科 音楽分野の著作権管理方法の在り方に関する一考察 菅野正孝
休憩										

場所	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510
座長	吉田　哲	張　睿暎	豊崎　玲子	遠山　勉	高田　仁	世良　清	犬塚　篤	吉岡（小林）　徹	光田　賢	田中　義敏
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	その他（ブランド・ 知的財産の新領域等）	産学連携及び新規事業	産学連携及び新規事業	知財人材育成・知財教育	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	学生発表	学生発表
14:00	2A5 茅野　直勝 日本弁理士会　意匠委員会 ハーグ協定ジュネーブアクトを利用した国際的意匠権活用事例 秋篠浩二	2B5 久保　雅一 小学館　マルチメディア局 デジタル・イクスパンジョンのおけるメカニズムに関する考察 ーデジタル化がもたらすコンテンツ産業の拡大現象		2D5 香月　亜美 京都大学 産官学連携本部 知財・ライセンス化部 終了後の取組み： 複数の企業および大学が参加する大型産学共同研究プロジェクト～『包括的産学融合アライアンス』の	2E5 早乙女　周子 京都大学大学院医学研究科 米国バイオベンチャーの特許出願に関する調査研究 中屋百合恵、佐藤嘉朗、福田宗弘	2F5 油谷　弘毅 宮城県水産高等学校 東日本大震災被災地の水産高校における知財教育実践の効果に関する考察と展望	2G5 妹尾　堅一郎 産学連携推進機構 食品産業における「オープン＆クローズ戦略」の可能性　～林原の事例に見るビジネスモデルと知財マネジメントへの示唆 斎藤君枝、久保恵美	2H5 深見　克哉 国立大学法人九州大学 マテリアル移転業務の集中化による管理業務軽減の効果と今後の課題 澄川愛	2I5 福澤　和久 愛知工業大学大学院経営情報科学研究科 特許出願方策診断マトリックスの提案－特許支援制度利用の有効性分析－ 後藤時政、樋口武尚、近藤 高司	2J5 須貝　崇史 中央大学　法務研究科法務専攻 著作権法における「間接侵害」論再考
14:20	2A6 大沼　加寿子 日本弁理士会商標委員会 商標法第3条第2項の周知性と地域団体商標の周知性に関する事例報告			2D6 前田　裕司 千寿知財企画（元大阪大学） 大学知財・産学連携を考える－2－	2E6 隅藏　康一 科学技術・学術政策研究所／政策研究大学院大学 新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献：研究から臨床応用までの過程	2F6 木村　友久 山口大学大学研究推進機構 反転学習を取り入れた知財教育に関する考察（Ⅰ） —学習の質の向上を目指した知的財産学習の取り組み— 阿濱志保里、佐田洋一郎	2G6 妹尾　堅一郎 産学連携推進機構 知財権（特許）主導から知財マネジメント主導へ ～ “知財マネジメント”の新定義と新構成の提案～	2H6 澄川　愛 九州大学有体物管理センター マテリアルトランスファーにおいて払うべき注意義務についての考察 深見克哉	2I6 渡辺　雅之 東京理科大学 大学院 イノベーション研究科 知的財産戦略専攻 建設業界における規制とイノベーションとの動的関係 鈴木公明	2J6 鈴木　康平 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 電子化する図書館資料と著作権
14:40	2A7 岡田　吉美 一橋大学イノベーション研究センター 特許出願公開制度の知識普及における効果－米国の制度改正に基づく検証 長岡貞男	2B7 井手　李咲 青山学院大学 著作権法における非親告罪に関する一考察	2C7 眞壽田　順啓 関西学院大学 地域団体商標の取得と活用に関する諸問題一兵庫県の事例について一	2D7 新村　和久 科学技術・学術政策研究所 大企業と大学・ベンチャー企業を顧客として比較した際の、特許出願の質、および特許事務所業務の経済的合理性に関する意	2E7 狩野　幹人 三重大学社会連携研究センター 高耐熱・高絶縁コーティング技術に関する知財分析とそれに基づく産学連携 青木裕介、中村修平、八神寿徳、辻誠三、村上泰	2F7 陳内　秀樹 国立大学法人　山口大学 大学学部生への知財教育における創造性育成に関する一考察 ～農学部生向け知的財産科目内容の検討～ 木村友久、李鎔環、北村眞之、阿濱志保里		2H7 西原　広徳 日本弁理士会知財経営コンサルティング委員会 知財経営コンサルティングにおける顧客満足度を高めるコンサルティングフローの紹介	2I7 赤松　将也 東京理科大学大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 日本の物流～国際競争力の強化～ 鈴木公明	2J7 潘　カクン 日本大学大学院知的財産研究科 イスラム法の精神を二次的著作物制度に導入する可能性
15:00	2A8 井上　慎一 日本弁理士会 「植物」：現物主義の種苗法と書面主義の特許法による二重保護		2C8 児玉　恵理 筑波大学大学院生命環境科学研究科 地理的表示による地域ブランド化の展開	2D8 米川　聡 国立大学法人九州大学 新技術分野の知的財産における課題と展望 野呂高樹		2F8 阿濱　志保里 山口大学知的財産センター 著作権学習の実施に伴う学習者の意識の変容—SD法を用いた学習者の意識調査— 久保田裕、阿濱茂樹、木村友久	2G8 浜田　治雄 日本弁理士会 ADRとアミカスブリーフ	2H8 境　正寿 境特許事務所 多様な知的財産の有機的結合により新事業の創出を促すオープン・イノベーションモデル	2I8 酒井　優 東京理科大学専門職大学院 組織に属していない著作者の権利侵害における訴訟について 鈴木公明	2J8 井手　孝雄 日本大学大学院 知的財産研究科 部分意匠制度との関係から見た全体意匠の類似範囲に関する検討 金井重彦
休憩										

場所	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510
座長	滝田　清暉	安田　和史	小田　哲明	隅蔵　康一	村松　浩幸	谷口　牧子	眞壽田　順啓	米山　茂美		原田　隆
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	その他（ブランド・ 知的財産の新領域等）	産学連携及び新規事業	知財人材育成・知財教育	知財人材育成・知財教育	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理		学生発表
15:30	2A9 田中　洋子 日本弁理士会　バイオ・ライフサイエンス委員会 存続期間延長登録に係る特許権ついての調査、研究及び提言（1）平成25年度バイオ・ライフサイエンス委員会第5部会の答申 大西達夫、大澤健一、河部秀男、田村幸恵	2B9 兼子　美幸 日本大学学友 建築物の著作物性	2C9 中嶋　和昭 日本弁理士会 わが国における地理的表示の保護：現状と将来展望	2D9 前田　敦子 東京海洋大学産学・地域連携推進機構 東日本大震災復興支援における知的財産の支援活動	2E9 陳　愛華 重慶大学経済与工商管理学院 知識産権から知識財産へ 松岡守、岡田廣司、世良清	2F9 世良　清 三重大学大学院地域イノベーション学研究科／三重県立津商業高等学校 学校現場での商品開発教育の現状と課題 仲卓哉	2G9 宜保　友理子 慶應義塾大学総合医科学研究センター ヘルスケア領域における品質表示を適切に行うためのヘルスケア・エビデンス・プラットフォーム（HEP）に関する研究 藤田卓仙、仁賀建夫	2H9 砥綿　洋佑 東京工業大学イノベーションマネジメント研究科 日本企業は国際調査報告の結果を活用できているか～ISRによる評価と国内段階移行国の実態～ 田中義敏		2J9 安達　大輔 日本大学大学院知的財産研究科 イノベーション創出につながる組織の垣根を越えた連携の形成手法に関する研究
15:50	2A10 河部　秀男 平成25年度日本弁理士会バイオライフサイエンス委員会 存続期間延長登録に係る特許権ついての調査、研究及び提言(2)平成25年度バイオ・ライフサイエンス委員会第5部会の答申 大西達夫、大澤健一、田中洋子、田村幸恵	2B10 渡邉　毅 芦田・木村国際特許事務所 コミックマーケットの二次的著作物が抱える法的問題の考察	2C10 押久保　政彦 押久保政彦国際商標特許事務所 地域ブランド生成の論理とマネジメント（加工食品分野の事例から）	2D10 網中　裕一 東京医科歯科大学　産学連携研究センター 医学系産学連携評価指標の構築・運用 飯田香緒里	2E10 二又　俊文 東京大学政策ビジョン研究センター 新たな「グローバル知財ネゴシエーション」の考察－事業戦略実現のための知財ネゴシエーションのあり方	2F10 小出　篤史 theta研究室 プログラミングにおける模倣と創造に関する考察	2G10 市野　貴之 北陸先端科学技術大学院大学　知識科学研究科 特許審査対応知識の体系的記述－特許法37条に着目した特許審査対応プロセスオントロジーの詳細化－ 池田満	2H10 鈴木　伸隆 東京大学大学院新領域創成科学研究科 企業間の共同研究事例にみる取引費用が共同研究実施に与える影響 田中秀穂		2J10 謝　昕光 日本大学大学院 知的財産研究科 企業における技術情報管理に関する考察
16:10	2A11 加藤　浩 日本大学大学院 特許権の存続期間の延長に関する一考察	2B11 藤田　健 日本弁理士会ソフトウエア委員会 著作権によるソフトウエアの創作の保護についての留意点～過去の裁判例から見て 伊藤夏香、北岡弘章、篠森重樹、前渋正治、山本	2C11 杉光　一成 金沢工業大学 デザイン・ドリブン・イノベーションにおける「デザイン」の意義と知財制度の関係	2D11 飯田　香緒里 国立大学法人　東京医科歯科大学 医学・臨床研究利益相反マネジメントの在り方に関する考察	2E11 岡田　廣司 東京福祉大学 福祉分野における知財人財育成・知財教育の展望 世良清、陳愛華	2F11 高崎　芳紘 日本弁理士会知的財産支援センター 高等専門学校における知的財産教育に関する考察 藤田貴男、丹生哲治	2G11 小山田　浩 東京大学大学院工学系研究科 日本の素材製造業における発明の生産性分析 渡部俊也	2H11 興梠　光治 株式会社カネカテクノリサーチ 因子分析を利用した特許価値評価方法の開発 古澄英男、林明峰		
16:30	2A12 櫻井　通陽 日本弁理士会平成25年度バイオ・ライフサイエンス委員会第2部会 米国Myriad事件最高裁判決の遺伝子・診断発明への影響に関する考察 佐貫伸一、辻淳子、腰本裕幸、都祭正則	2B12 岡崎　潤 コンテンツマネジメント研究会 音の商標と著作権、著作隣接権との抵触に関して		2D12 齋藤　裕美 千葉大学法政経学部 産学共同研究と企業パフォーマンス～医薬品産業におけるパイプラインに着目して 隅蔵康一	2E12 内藤　善文 愛媛県立新居浜工業高等学校 人類の進化と発明と教育～知財教育の実践をとおして発見した教育の真実～	2F12 伊藤　伸 東京農工大学大学院工学府産業技術専攻 大学研究マネジメント人材に求められるスキル、行動、育成についての考察 渡部俊也		2H12 藤原　綾乃 東京大学大学院 人を介した技術情報の流出と獲得～技術と発明者の距離に関する実証分析～ 渡部俊也		
16:50	2A13 吉田　尚美 日本弁理士会　平成25年度バイオ・ライフサイエンス委員会 機能性食品についての問題と提言				2E13 原田　隆 東京工業大学　情報生命博士教育院 リサーチアドミニストレーターの職業倫理に関する考察					